

Q&A4. 貝塚が語る食料事情

縄文時代の人々は食料を狩りや漁、採集などの方法で獲得していました。食料としては獣、魚や貝、木の実、根菜（ヤマモ等）、昆虫などが考えられますが、通常は腐って残りません。貝塚にはそうした食料の残骸の一部が残され、昔の食生活を語ってくれます。

Q：昔の人の主食って
どんなもの？

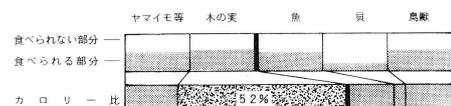


水子貝塚から見つかった食料は…

木の実	クリ オニグルミ クヌギ
ほにゅうるい	イノシシ タヌキ シカ ノウサギ
鳥のなかま	タンチョウヅル
魚のなかま	カツオ クロダイ コイ コチ トビエイ スズキ アオザメ アシハラガニ
貝のなかま	ヤマトシジミ マガキ ハマグリ オオノガイ アカガイ オオタニシ シオフキ



▲貝塚の中から出てきた木の実



▲縄文時代の食物別カロリー表

カヤ：『博士、この貝塚の中から出てきた黒いものは何なの？』

博士：『これはな、大昔の木の実じゃよ。普通は溶けてしまうん
じゃが、貝塚では残ることがあるのじゃ。他にも鳥や獣、
魚の骨などもたくさん残っている。』

モリ：『貝がらが多いから、貝ばかり食べてたのかと思ったよ。』

博士：『そんなことはないよ。左の表を見てもらえばわかるけど、
貝は思っているよりも栄養はないし、食べられる部分も少
ないのじゃ。とても貝だけでは生きていけないよ。』

カヤ：『そうすると、栄養があって得やすいものが主食になる
可能性が大きくなってわけね。』

A 貝塚では貝だけが目立ちますが、カロリー表が示すように
栄養は木の実や鳥や獣の肉の方があります。また、木の実
などの方が採集・保存がしやすいことを考えあわせると、野や山
の動植物を主に食べていたと考えられます。

しかし、季節による差はあっても1年を通して採ることのでき
る貝は、その量を見ても非常に大切な食料であったと思われます。

